

このたびは、パワーアンプをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。  
ご使用前に、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読み  
のうえ、正しくご使用ください。この取扱説明書はお読みになりましたら大切に保管し、  
後日わからないことがありましたら再びご覧ください。

### 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

#### **警告**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

#### **注意**

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例



△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。






●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。




## 安全上のご注意 〈必ずお守りください〉

- ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保存してください。

### 警告

<p><b>異常が起きたときは、ただちに使用をやめる</b> 煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。</p>	  <p>プラグをコンセントから抜け</p>
<p><b>分解／改造はしない</b> 火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。</p>	
<p><b>異物を入れない</b> 水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。</p>	
<p><b>通風孔をふさがない</b> 通風孔をふさぐ、ものをのせたり通風を悪くすると内部に熱がこもり火災の原因となります。</p>	
<p><b>電源コードを傷つけない</b> 電源コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、ねじったり、引張ったり、熱器具に近づけたりすると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）販売店などに交換をご依頼ください。</p>	
<p><b>表示された電源電圧以外の電圧で使用しない</b> 火災・感電の原因となります。</p>	
<p><b>雷が鳴り出したら、接続コードや電源プラグには触れない</b> 感電の原因となります。</p>	
<p><b>壁から4cm以上の間隔をおいて設置する</b> 内部に熱がこもり火災の原因となります。また、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。</p>	
<p>ラックにマウントする際は説明に従って付属の金具を正しく使用し、固定してください。取付けに不備があると落下したりしてけがの原因となります。</p>	

### 注意

<p><b>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない</b> 火災・感電の原因となることがあります。</p>	
<p><b>不安定な場所に置かない</b> 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p>	
<p><b>工事は工事店に依頼する</b> 工事には、技術と経験が必要です。火災・感電、けが、器物損壊の原因となります。工事店にご相談ください。</p>	

## ⚠ 注意

電源を入れる前には音量を最小にする  
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。



濡れた手で、電源プラグを抜き差しはしない  
感電の原因となります。



お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く  
感電の原因となることがあります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む  
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。



電源プラグのほこり等は定期的にとる  
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因となります



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない  
コードが傷つき、火災、感電の原因となります。必ずプラグを持って抜いてください。



この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない  
特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。



テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器、スピーカーなどの機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続が終わりましたら、必ず端子カバーを取り付けてください。感電の原因となることがあります。



1年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。



## 設置・使用上のご注意

- 本機の放熱孔をふさがないように、放熱には充分注意して設置してください。また、本機の全面は4cm以上の空間を確保して設置してください。
- EIAラックに組み込む場合は、本機の上下段には必ず1Uサイズ以上の換気パネル（別売ASB-102Fなど）を取り付けてください。また、ラックの最上段と最下段にも1Uサイズ以上の換気パネルを取り付けてください。
- 入力線と出力線は近づけずと発振する恐れがありますので、できるだけ離して配線してください。特にラックに組み込むときにはご注意ください。
- ラックに取り付けたとき、アースのループができハムなどのノイズがでることがあります。このような場合にはシグナルグランドスイッチをFLOAT側に切り換えてください。
- 直射日光の差し込む場所、温度の高くなる所には設置しないでください。また、湿度・ほこり及び振動の多い場所に設置すると故障の原因となることがあります。
- 本機を雑音発生の原因になる機器<sup>※</sup>の近くには設置しないでください。  
※高周波機器（乾燥機、医療機器など）、電気溶接機、ブラッシングモーター、自動車の通る道、携帯電話機、デジタル機器（コンピューター、電子楽器など）、空気清浄器。

# 各部の名称と説明

## レベル表示灯(A)(B)(緑)

定格出力に対し、-20dB以上で点灯します。

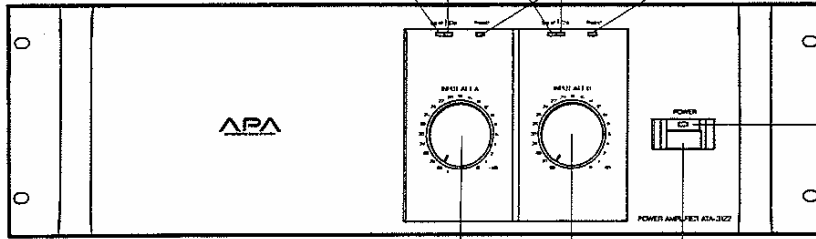
## クリップ表示灯(A)(B)(赤)

過入力で音がひずむと点灯します。本機の音量調節つまみ、あるいはミキサーの出力レベルで点灯しない範囲で調節してください。

## プロテクト表示灯(A)(B)(赤)

電源をONにすると一旦点灯しますが、4~6秒間で消灯し動作状態になります。使用中に放熱器、または電源トランスの温度が95°C~110°Cになると点滅を始め、それ以上の高温になると点灯状態になり、出力できなくなります。点滅を始めたら出力を下げ、温度を下げてください。

前面



## 電源表示灯(緑)

電源スイッチをONにすると点灯します。

## 音量調節つまみ(A)(B)

ミキサーの定格出力レベルに合わせて適当な音量に調節してください。

## 電源スイッチ

電源スイッチをONにすると、4~6秒後に動作状態になります。(電源をONにしてもすぐに動作しませんが、これは電源投入時のノイズを防止するため、ミュートイング機能が働くためです。)ミキサーやワイヤレスチューナーなどと組み合わせて使用する場合は、本機の電源を最後に入れると電源投入時のノイズがなくなり、スピーカ保護になります。また電源を切るときは、逆に本機の電源を切れば同様の効果になります。

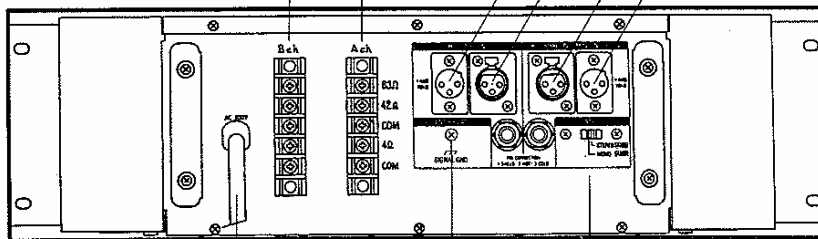
## スピーカ出力端子

ローインピーダンスのスピーカ、ハイインピーダンスのスピーカいずれも接続できますが、□、ハイ同時には接続できません。「接続方法」の項を参照の上、正しく接続してください。

## 入力端子

キャンタイプコネクタ(オスとメス)及び、3極大形ジャックの3種類のいずれかで接続してください。「モノ」使用時は必ず(A)入力端子に接続してください。(B)入力端子に接続しても出力されません。(また3種類の端子に並列に接続してもミキシングにはなりませんので接続しないでください。)

後面



## AC電源コード

消費電力は700Wです。接続コンセントにご注意ください。

## モード切換スイッチ

ステレオの場合は「ステレオ」側に、モノラルの場合は、「MONO」側に切り換えてください。

## アース端子(雑音低減用)

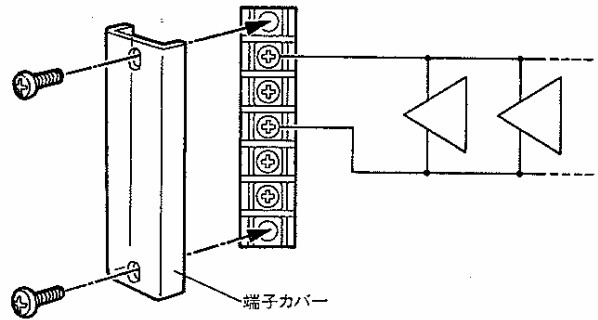
本機に他の音響機器を接続するときなどで雑音低減の効果がある場合に、他方のアース端子に接続したり、接地してください。また静電気対策などのためにも接地することをお勧めします。

# 接続方法

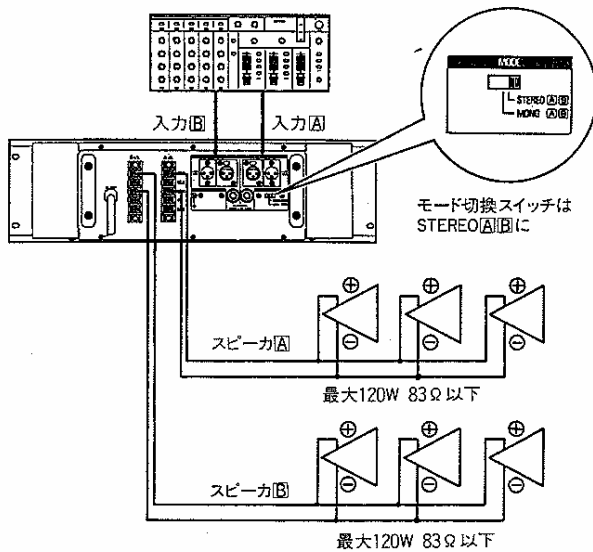
## 接続上の注意

- ◎スピーカの合成インピーダンスがアンプの適合負荷インピーダンスより小さくならないようにしてください。
- ◎スピーカの合計W数はアンプの定格出力以下にしてください。
- ◎ハイインピーダンススピーカとローインピーダンススピーカを同時に使用することはできません。
- ◎ローインピーダンスのスピーカを接続するときは、全スピーカの合成インピーダンスが4Ω以下にならないようにしてください。

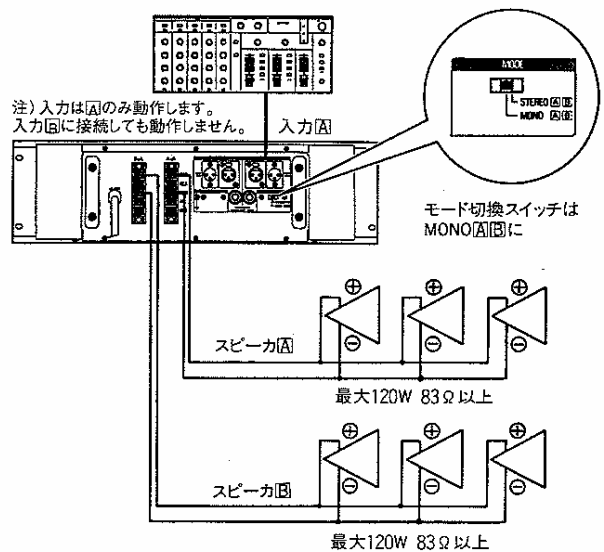
- スピーカ出力端子は、接続後必ずカバーをしてください。



## 2入カステレオの場合 (STEREO)



## 1入カモノラルの場合 (MONO)



## ハイインピーダンスで使用するスピーカ

通常は83Ω-COM (ハイインピーダンス100系) に接続してください。

出力端子	適合負荷インピーダンス	スピーカの必要容量
83Ω (ハイインピーダンス100系)	83Ω	スピーカ(トランス付)の合計容量が120W以内
42Ω (ハイインピーダンス70系)	42Ω	スピーカ(トランス付)の合計容量が240W以内

## スピーカ回線の太さと配線可能距離のめやす。

### ハイインピーダンスの場合

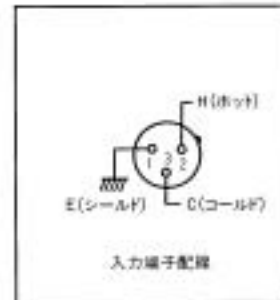
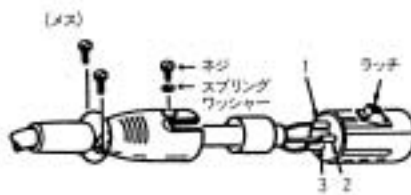
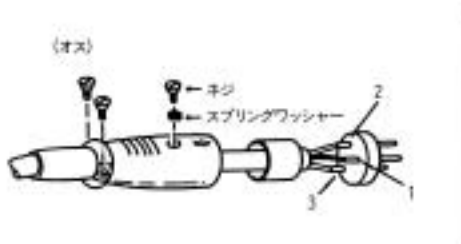
線の太さ	φ0.9mm	φ1.0mm	φ1.2mm	φ1.6mm	φ2.0mm	φ2.6mm
42Ωの場合の延長距離	—	90m	140m	250m	380m	650m
83Ωの場合の延長距離	145m	180m	280m	500m	770m	1.3km

### ローインピーダンス(4~16Ω)の場合

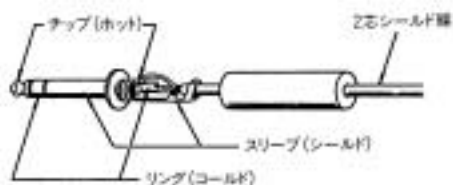
線の太さ	φ0.9mm	φ1.0mm	φ1.2mm	φ1.6mm	φ2.0mm	φ2.6mm
距離	7m	10m	13m	23m	40m	60m

**入力端子用キャノンタイプコネクターの接続**

1番シールド 2番ホット 3番コールド



**入力端子用3種大形単頭プラグの接続**

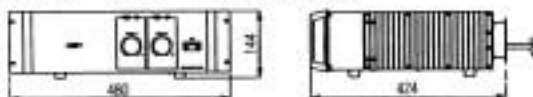


**定 格**

品 番	ATA-3122
使 用 電 源	AC100V 50/60Hz
定 格 消 費 電 力	200W(電気用品安全法による測定方法に基づく)
消 費 電 流	AC 7.0A (定格出力時)
定 格 出 力	120W+120W
出 力 負 荷 インピーダンス	83Ω (ハイインピーダンス 100系) 平衡 42Ω (ハイインピーダンス 70系) 平衡 4Ω (4Ω~16Ωスピーカ使用可能) 不平衡
周 波 数 特 性	50Hz~15kHz 偏差±3dB (EIAJ)
全 高 調 波 ひ ず み 率	0.1%以下 (83Ω 定格出力時 1kHz)
信 号 対 雑 音 比	100dB (JIS-A W. T. D. 83Ω)
入 力 感 度	+4dB (連続可変)
入 力 イ ン ピ ー ダ ンス	10kΩ (電子平衡)
動 作 表 示	POWER, PROTECT, SIGNAL, CLIP
使 用 温 度 範 囲	-10°C~+55°C
寸 法 / 質 量	幅 480mm 高さ 144mm 奥行 424mm / 約18kg
付 属 品	取扱説明書(保証書付) 1、M5×15ねじ 4、φ5飾りワッシャ4、 M4×8 十字穴付六角セムスボルト 4、M5×10 十字穴付六角セムスボルト 4

**外 観 寸 法**

ATA-3122



7%